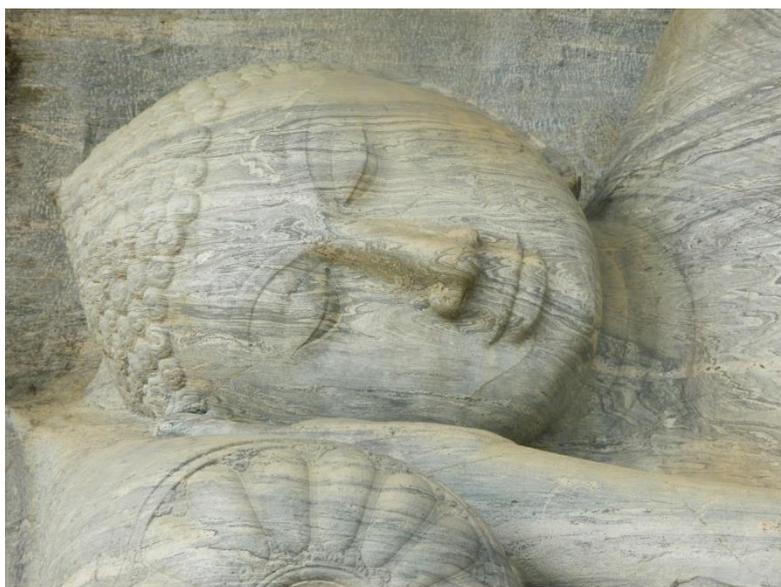


水源禅師法話集 105

(2019年4月20日 大阪合宿2日目)

2019年6月2日

一乗禅の会



目次

水源禪師法話

天界からの指令で動き、想像を絶する教えを受ける.....	3
時代に適応する知恵～ゼロから作り上げる発想(ご友人のお話).....	5
人間を生かす宗教がお釈迦様の教え.....	9
一切に捕らわれない、「仏法」は人を生かす方法.....	9
水源禪師が天界のお告げで歩んだ悟りへの道.....	11
人生は決まったものは無い、 お釈迦様はその時の無所得を確実なものにした.....	12

質疑応答

無所得、ただ座って行けば実感として体感できる.....	14
大麻について.....	16
AIはゼロから出来ない、 人間はゼロから作ると言う凄い力を持っている.....	17
想像を絶する仏法の凄さ.....	18

水源禪師法話

天界からの指令で動き、想像を絶する教えを受ける

いやあ、もう中日も終わって明日午前中でお終いですけれども。

最初、日本に来たのは 2009 年だったかな？今年 2019 年、思えばまあ皆さんここまでよく成長されて、これでしたらもう皆さんで山の頂上に向かって登れるから、私も一安心して、アンデスの楽園でちょっとゆっくり遊ばせてもらおうかなと。

まあ、不思議な縁でね、私はそこへ行く気は全く無かったのだけれども、これも天界からのアレでね、私が部屋に寝ていたのですよ。一安心して部屋、です、いつも小さいお部屋で。私の奥さんは大部屋で遠い御殿に住んでいるけれども、私は比丘だからちっちゃい所。

そうしたらね、パチャクテという人がいるのですよ。パチャクテというのは、インカの大神様でインカの国を作ったという。インカの民には日本でいう天照大御神というそれ以上の方なのです。その人が私の部屋に現れて、「エクアドル、エクアドル」と。

あらあらあら。エクアドルに何で行かなければいけないのかなあと思って、もう神様の言う事だからね。今回のアフリカもそう、全部。全部天からの指令なのです。いやあ、何故行かなければ、何故そういう分からない所に行かなければいけないのかなあと思って行って。

まあ、言う事を聞いて行って、これで帰ろうかなと思えば、ビルカバンバという所は、知らなかったけれども、世界の 60 か国から精神を求める人が集まる所なわけです。そこの最高の家を「はい、どうぞ買って下さい」と。それもめちゃくちゃに安い値段で。という事になったわけです。

だから、もう大金持ちのアメリカ人たちとかヨーロッパ人がびっくりしてしまっただけ。という風な街の噂では何でそういう事になるのかという事で、そこには超大金持ちがいっぱい来ているとのことですよ。エクアドルでは最高の町と言われる、誰でも住みたいという素晴らしいという名前で、もうこの世の楽園みたいだね。高度 2000m で暑くもなく寒くもなく年がら年中花が咲いて、もう年がら年中綺麗な小鳥がやって来て、年がら年中バナナがあるし、庭にはコーヒーもあるし、そんな夢のような所。

その家はその町では最も美しい家と言われて、それがスーッと手に入って、それでそこに住むようになったわけです。だから天界の動きというのは分から

ない。それが行かなくてもいいわけです。私は神様がよく現れてくるからその通り動かざるを得ない様です。動けばやっぱり想像を絶する教えを受けます。まあそういう事の触りで今度皆さんがここまで成長したから、私も 2 年間この世の楽園で遊んでも良いのかな？という感じで。いやあ、今まで待ったなしだったですよ、待ったなし。57 歳で退職してから、もうグルグルグルグルと歩いて、何年前ですかねモンゴルのウーランバートで出会って、

【参加者】

11 年目です

【水源師】

おお、そうになりました？そうですね。

それも何故行ったかと言えば、多羅様が現れてきて私を探してくれと。そうしたら二十一多羅があるのは、ウーランバートそのお寺だけしかない。二十一多羅というのはチベット密教では最高の数字なわけ 21 です。という秘密があるのですよ。

まあそういう事で、ご加護を受ける為に行ったのか、まあ、こう待ったなし。あれからズーッと。もうミャンマーからどこから、それでとうとう、やっと今お許しが出来て、まあ 2 年くらい休暇取っても宜しいみたいな感じで。

このアフガニスタンからのルビーとエクアドルのバロサントの香木と、それでこうしてカクサンダー阿弥陀様をお迎え出来て。この純金の金箔ももう 7 年前から用意して。



仏像に金箔を貼る水源禅師

直感的に分かるわけですね、金箔が必要だと。将来手に入らないと。その時でも三か月待ってやっと手に入った品物。純金度に近い箔というのはもう殆ど

作らなくてね。わざわざその時最高の純度の金箔を下さいと。オンタリオ芸術大学のそこから頼んで手に入ったのです。

ただこう掘って素晴らしい仏師が出て来た所がこうなって。だからもうこの世は本当に訳の分からないお伽のような国、お伽の様な世界。それでこのお伽のような国をよく知っている方がおられるわけですからここに。私の大親友で高校時代から俺お前という。その彼は頭が良くてね～。超真面目で失敗しない男という人生の大達人と言わざるを得ない。この大阪ですよ、ちょっとこのビルディングを貸して使ってくれと。ねえ～。まあそういう方のちょっとお話をどうぞ。

時代に適応する知恵～ゼロから作り上げる発想（ご友人のお話）

【水源師のご友人】

人生 150 年で、まだ半分で今 72 なのです、同じ年で。

まあ皆さんの今日の法話会か瞑想会ご苦勞様でした。本当にまだ途中なのですけれども、彼とは 56 年になりますかね。その途中はカナダへ奥さんと一緒に突然出て行った時から、見送った時からズーッと繋がっているのですけれども。

まあ、いろいろ紆余曲折あったのですが、私はその時から全然今の道とは違うのですけれども、本当は科学者というのですか、技術者になりたくて、まあ昔はね天文学者になりたい、パイロットになりたい、ただ目が悪くてその道を断念して科学者になりたい。それでコンピューターとかそれから半導体もやりたいと言ったのですけれども、これは飯が食えないという形で家業の方の釣り具の方に入って、入った当初はビジネスというよりは商売という形で、非常にその～、物を売るだけという話になって、非常に反発した時期もあったのですが、そのうちに結婚して子供が出来て、ただ子供は海に連れて行くという事をまずしたくなかった。というのは、仕事を思い出す、海に行けば竿が垂れている、仕事を思い出す。そういう時代もありながら、今言った通り一応真面目にやって来たところ、段々面白くなって来る。

日本はなぜ面白いかと言えば、いま日本の私らが学生の時から卒業した時、大学を卒業した時は、繊維から自動車、家電かな？家電に行って造船があつて家電に行って、それからエレクトロニクスに行ってという。日本が世界に誇れる NO.1 を目指した時代に私らは就職してきた時代なのです。

その時代に色んな業界が入っても全ての物が発見される、発明される自分らの物の言いものをどんどん改良していくそういう時代に入っている中で、私たちは育って来ている。

ただ何もかもがゼロから作り上げている時代ですし、私らの学生の時は電卓

もないし、計算尺とか、手回し計算機、そういう時代に、何もない時代から作り上げている時代に私らは生まれてその実生活に入って行く、ビジネスの世界に入って行く。

これは非常に今の時代でも適応がし易い。非常に何も無い時代から発想を作って行く。今あるものでもこれをどうすれば良く出来るのかという、そういう発想が出来るという事は、ゼロからの物を作り上げる価値という中に、育てる空気と環境がそういう形になっている。

私が釣り具の世界に入った時は、本当に竹竿と綿糸があつて、ナイロンもちょっと一部出ていたのですけれども、針があつてという形で、釣りをするだけでした。

それが今日、日本中で売っているのですけれども、そのうちにグラスロックが出来て、リールがもっと普及して、糸もどんだんどんどん強くなって、ケブラーとか最先端の素材が入ってくる。

日本人は器用ですからそれを全部民間の商品にして行くというゼロからの物の発想でやって行く時代で、私らは目前、目の前で見えるし売るという実感もあるし、それはやっぱり自分らも育ててくれるし、社員も育ててくれるし、業界も育っていくという形を、目前にズーッと見ながら来ているので、今の時代の世界を、日本だけでなく世界中を市場とすればまだまだ発展の余地はあるし、社員がそれなりに育っていくには、やっぱり夢を与えなくてはいけないと言う事と、そういう中で育っている中、次の発想は一体何か？

全部疑問に思つてゼロと思つて発想していくという形を私らはするので、それは非常に役に立っている部分です。まあここで使用されている方は、非常にその何かを見つける、何かを感じ取る。これはビジネスの方でも共通している部分で、常に何か目の前に通り過ぎるそれを見逃すか、見つけるか、身体で感じるか、眼で観るか、全ての物が目の前を通って行くので、それは私の方では見逃さないようにする、感性を磨くという形で。

それで、社員でズブの素人でもある程度任せてしまう、全部やらせてしまう。やって失敗、それはそれで良い。そこからまた学ぶものがあるという形で、反骨精神の中で私は育つて来たので。一応 50 年間、失敗をしないではなしに、成功するように失敗をしない。これは確かに正確な道で、そういう部分で私はやってきました。

今後もその道で、もう限界だと言っても、いやいやいや。まだまだビジネスは面白い。それで発想を生かせるのはまだまだあるだろうし、ゼロからの挑戦であるし、ある程度水準が上がっているだけの話で。ここから上は、ここをゼロにすればまた上にあるという感じの中でもう生きていますので。

まあ、そんなに良い話も出来ないのですけれども。そういう中で生き抜いてき

て、私は今も日本では生きづらいというのは、日本が狭いのではなく、世界の市場を見ないというか、世界の考え方に合わせなければいけない。何でも世界基準にしないともう生きて行けていけない時代に入っているのは痛感しています。

今も下で話をしたのですが、通貨が円なのかドルなのか元なのか、そういう事もひっくるめて会社というのは、宗教でいう全ての物を包括された国家とも一緒と、それだけのものに濃縮されているので、これは何も一瞬たりとも油断は出来ないものと。

ただ、それは苦しむか楽しむか、それかゆっくり現状を、私らは現状肯定派だから全てのは肯定してしまうという形で今もそうしているのですけれども。それが正解かどうかは分からないですけれども。

自分の部分は先三年後ね、これは行けるだろうと。そういう形では判断の仕方を今、しています。

これは皆さんと全然、まあ生き方は違うと思うのですけれども。何が正解かは、私らは聞かれても言えない。私も今、発展途上という形で行っているのです。その中で生きるのは自分の目の前の2年3年5年をどう生きるか？どう見れば自分が最適か？相手がどう感じてくれるか？相手の為にとというか、私もまあ今どんどんどんどん入れて行く。

これは終極的に今、日本はどんどん人口減っていますし、会社企業の経営も人為的なものとなりますかね。一番の要因が人為的なもの。色々、今も日本の政府は巨大企業のビッグデータを規制するとか。それから河川事業として規制するとかいうのですけれども、これ全てビッグデータは何の為に使うかと言えば、人為的な要素をまとめているだけだから、人間的な要素がここから先が一番重要になるだろうと、会社経営も物を作るのもそういう形を問われている時代にもう入っている。

だから、私らもここで、彼（水源禅師）はここで瞑想会という事で。凄い気にはなって、その世界にはあまり接近はしていないのですけれども、ただここを開設した時にここは、神道の方が一度使われていて、この間分霊している神様を帰したのですよね。ほったらかしはダメだと。今はもう空いているところで非常に悪いのですけれども、この阿弥陀様を置いてもらって良いです。私もその中で人間的な部分をちょっと感じる部分があれば、ここに座るためにここでお守りするとか、接点を持ちたいという形で、まあ自由に使って頂けるようにとは今話していたのですけれどもね。

それだけビジネスの世界も全てが繋がる部分、心意的な要素が絶対繋がるので、私の方はそういう意味でここは重要な場所と思っていますので、皆さんも自由に使って頂けるのであれば、言って頂ければいつでもOKでありますので。

何の話をして良いのか難しいですけれども。こういう世界の中ではあまり接点はなかったのですけれども、常に心の中では年に一回は阿吽でこの間もぱつと電話が来た時に一年経っているとは思わなかったですね。2, 3 か月くらいの間隔くらいかな～という話で。

それだけやっぱりどこかで繋がっている部分があるのだろうと、自分も間違いないのは彼の繋がりを引っ張っている部分もあるだろうと思いますし、その中の繋がりでいつも「俺・お前」とか言うてまして。先生々と皆さん言っていますけれども、私の方はそういう風な捉え方ではないので、そういう呼び方もさせてもらって、リラックスすれば良いかなという形で通っていますので、今後とも宜しくお願い致します。

【司会者】

改めて、お礼を皆さんで申し上げたいと思います。
いつもありがとうございます。

【全員で】

ありがとうございます。



今回の合宿場所に納められた阿弥陀仏

人間を生かす宗教がお釈迦様の教え

【水源師】

この人生の達人の U 社長さんのお話は、これが本当の仏法で一切有為法、如夢幻泡影、如露亦如電、応作如是観という事を実践されたわけ。だからゼロのポイントは動くというのでしょうか？そういう一切有為法、如夢幻泡影と。

だからそれは、上に上がるか下に下がるか分からないと。きのう説明したトロッコ問題、限定した考えは辞めなさいと。世界があると。広いと。だから私がアフリカに行きたい人は紹介してあげると。中近東に行きたい人は紹介してあげましょうと。南米に行きたい人は繋いであげましょうと。世界は広いのですよ。という事をちゃんと説明しているわけ。現実の話として。

仏法というのは現実から離れて仏法はないわけです。という事でこれが須菩提スボダイ、スボダナ、最後の比丘、お釈迦様が涅槃に入る直前の最後の最後の教えがここ金剛般若波羅蜜經典、ここに如何にして阿耨多羅三藐三菩を手に入れるかという道しるべ、が書いてあるわけです。それを実践しているわけなのですよ。

私も分からないけれども、というのも願解如来真、タサタ、タサ、タサガタの事なわけ。私たちはその世界で生きているわけです。という風に想像を絶する究極の教えをお釈迦様は死ぬ前にこれを残して行かれました。

こういう話も未だに日本には伝わっていない。この金剛般若波羅蜜經典、の解説書はありますよ。でも今みたいな話がどうしてお釈迦様が死ぬ前に一切有為法、如夢幻泡影、如露亦如電、応作如是観という事そのものだという事を未だに誰も言っていないでしょう？商がここなのです。誰も観えないけれども、それをよく考えて実行して下さいという事。生きて下さいという事。人間を生かす宗教がお釈迦様の教え。だからここにピタッと書いてあるこの事なのです。

一切に捕らわれない、「仏法」は人を生かす方法

何回も言ったでしょう？私がこの正法眼蔵、一番最初に押した判は無所得、捕らわれるなど、一切に捕らわれる事なしと。捕らわれれば、お日本円は安くなる、元がなるとか、もう本当にパニック状態でおかしくなるのだけれども。捕らわれないゼロは変わるものだと思えば、そうかと楽しんで生きていけるわけです。

それで世界も、今言ったように、この日本だけに捕らわれるからおかしくなる。だからお隣の国と戦争しないで仲良くすればそれで解決するのに、わざわざお前が強いおれが強いとか、煽りをやるわけです。何のためにかと。巻き込

まれるのは一般の社会の人でしょう？トップが煽りをやって楽しんで、私達は駒だからどうにも出来ない。という状態でこういう大乘の最高の教えを無視した挙句の果てが、今私たちの現状なわけです。

じゃあ、如何にしてスボダナ、スボダイ様がお釈迦様から異空時間でこれを受け取ったのか？問答した異空時間、というのは一年即無量永劫、一瞬の中に無量の時間帯が実は在るから、私たちの目からみればすぐに死ぬのだけれども、受け取れないのだけれども、お釈迦様の力によっては、その一秒がもう何十時間もの時間になるからという摩訶不思議な世界には私たちは生きているのだけれども、それは体験でしか分からない。だからこの御経を読むには、法随観と空の世界を通過しなければ読めないになっています。在り得ない話。だから日本ではスボダイ長老と 1200 人の比丘、比丘尼方が祇園精舎でこれを受けたと。

実態は、インドの話では違うのです。インドの話ではお釈迦様が死ぬ三か月前に、最後の比丘が現れるからと。アナンダ尊者が一体何の事か分からなかったけれども、これを受け取る事を見て分かったわけです。

ところが、そういう話をまともに書けば、これは夢物語で誰も見向きもしないから。まあ、そういう風に祇園精舎で教えを受けたという。書くわけですね。これは嘘ではなく人が到底理解できないから、仕方なしにこう書くしかないわけです。

世の中は大体こんな事。一般の頭では到底受け入れられない。宇宙人は絶対いないし、人間だけだという頭でしょう？ところが法随観で宇宙を観れば無量の生命体が全部います。だから私たちは見方が完全に固定されてしまっているから、まずそれをもう手放しなさいと。完全に固定した場合には商はできない。完全に破産してしまう。さっき言ったようにこの世は、全てアニッチャ、常に移り変わる。だから刻々と変わって行ったという商の話を聞いた。それを目の前で見ているわけです。

シンガポールを作った印光禅師様は、禅の達人でシンガポールを作ったわけですよ。中国から共産党が発生する前に 1930 年代に和尚さんが未来を見えるので二人の弟子に、一人は中国、一人はシンガポールに行きなさいと。どっちに行くかサイコロを投げて決めたわけ。行ったところが「ラビング・カインドネス：Loving Kindness」という有名な 2600 名のボランティアが奉仕している超巨大なお寺に今なって、和尚様が行った時はあばら小屋。

シンガポールと言えど今世界最高の超大金持ちが誰でも住みたい町。という風に仏法は人を生かす方法なわけです。今日本の現状で打開がないという事は、日本の精神界が全く勉強していないという事。これを掲げるだけ。

じゃあ 2000 年の宗教界の仏教を学んだ日本の僧界は一体何の為に国民が

2000年養ってきたわけなのではないでしょうか。という所まで来ています。特に法相宗とか唯識論、中論、智度論、これを読めば全て一体化しているという、この経典すらこの日本にはないわけです。

水源禪師が天界のお告げで歩んだ悟りへの道

この経典を昨日も説明したように社会福祉法人金剛樹心会理事長、高野山大学教授、龍谷大学講師、龍谷大学非常勤講師、京都大学大学院生、仏教大学大学院生、中国蔵学研究中心主研究所所長教授、大谷大学非常勤講師、京都大学非常勤講師、龍谷大学大学院研究生、仏教大学大学院生、これだけの方々がこれを失ったと言っている。「無い」と。

ここの安慧菩薩様の阿毘達磨雜集論に全て唯識論、法相宗、智度論全てここ、ここが中核になっています。今まで沢山のお布施を受けて巨大な寺院を建てて、巨大な伽藍を建ててこの紙一枚も無いわけです。無いのは当然なわけです。これは金1トンの重さで交換するという品物。こういう金1トンの重さ金13000トンの値の最高の物。アメリカ合衆国でも8700トンしかないのです。

これがまた中国の雲居寺、ウンイスと中国語で発音します。その山の洞窟にあります。私がたまたま行った時、これを中国の要人が「ぜひ持って行ってくれ」と。私がお土産として頂いた。これは中国の国宝寺。

何故ここに行ったかといえば、さっき言った様に天界のお告げで行ってこれというのです。何故行かなければいけないのかといえば、南米のコロンビアの霊能者が「いやあ、ここに行けばあなた全ての願いが叶うのですよ」って、「ありゃまあ〜、仕方ない」と思ってそこで私は仏教の教えではね塔があるでしょう？五重の塔とか三重の塔とか七重の塔とかあるでしょう？そこを三回回ってお辞儀して願いをすれば全ての願いが叶うという。

まともに信じてその通りしたわけです。「どうか私は悟りたい」と。「悟りの道を教えて下さい」って行ったわけですよその時。まあ行ってなればなる、ならなければならないと、行けばやっぱりこういう風に、今から二十数年前の話、だけれども。

結局ミャンマーに行ってそういう道に入ってまた印幻〔イナン〕大先生から極意を教えてもらって。通度寺の月下〔オオラ〕スニムといえばお釈迦様からの直接の法主、代を継いだ方で、その大先生から観音様のエネルギーをポイントと与えられて。だからさっき言った金剛波羅蜜多經のタサ、如来の実態、さっき商で説明されたように、実態は摩訶不思議なこういう風になっています。

だからお釈迦様はこれ程、凄い、お方なわけです。その中でどういう風にして阿耨多羅三藐三菩提を手に入れるかという事をここに書かれているのです。

この莊嚴浄土文、莊嚴浄土というのは阿弥陀様の事。阿弥陀の大地。私がこれを発表する時はまさかこれがこうなるとは思わなかった。

その時にゴードマブツダ菩薩様はディーパンカラ大燃燈仏にお会いした時はスメナと言う名前ですね、その時にディーパンカラブツダ、大燃燈仏から「お前は未来の地球上のインドの大地で必ずや釈迦牟尼仏として成道する」という予言を受けたのです。

その時の言葉が実に無所得、無所得と行って、涅槃、無所得、こうすれば阿耨多羅三藐三菩提に到達するという。長々と説明すれば一杯あるのですよ、これどういう風にやればいいのかこれ全部。そうすれば頭がおかしくなるし、時間も無いしまあ簡単に今こう説明したけれども。

人生は決まったものは無い、お釈迦様はその時の無所得を確実なものにした

こういう事で判を作っておいて、実際の一切有為法、如夢幻泡影の商の世界、まさにその通りでしょう？ゼロがこうなればまたやれば良いと。ゼロから皆作ると。そういう風な決まったものは無いと。

人生もその通り。つまりお釈迦様がその時の無所得を確実にものにしたと。どういう事でものにしたかそのお話分かります？その時代に。大燃燈仏ディーパンカラ様を通る時に雨が降ってどろどろだったわけ。その時にゴードマ菩薩様が、自分の髪の毛を水の上に敷いてディーパンカラ大燃燈仏が足を汚さないように通したと。

その時何かを得るという考えでやったわけではないわけです。という事を実際にやったから実に無所得の行為で「お前はこれから生まれる時はカピラバーツで生まれ。ブツダガヤで菩提樹の下で成道する」という受記を受けたわけです。

この話がやっぱり商売の話の実態の日本の商売の事で、この一切有為法、如夢幻泡影とその事。という事を一般の僧界は説明しなくてはいけない。なぜ説明出来ないかと言えばこの中論、智度論、法相宗、唯識論これがここに書かれていて、この三蔵法師玄奘大使の訳を消失したと。さっき言った方々が言っているのです。

これが今の宗教界の現状なのです。アメリカがね、もし本当であれば、ノートフォックスに 8700 トンの金塊があるわけです。この値はその当時ネイル首相が毛沢東に 13000 トンの金の値で手に入れたという書物の中核。

これを読めば全ての無駄な論争が止まるわけです。無相唯心論、有相無心論、唯識論、智度論、中観、中論、全てここの中に書いてあって、そういう違いはないわけです。

それにプラス法随観ダンマヌパッサナーとチッタヌパッサナーの空を通過した時にはこの意味が明快に分かるけれども、これを通過しない限りは分からない。何故かと言えばここにはナーマルーパ、色の事を詳しく大乘の方から説明しているけれども、結局上座仏教の方ではこの一冊の教科が、この達磨多羅禅経ではただ法随観と一行でなっているだけです。

解析できるわけがない、でも大体のここに進む教科は書いてあります。これを読むにはどうしても法随観を通過して空を通過しなければこれも読めないようになっています。何を書いてどういう事をするのかも分からない。だから皆さんは運が良くて、私の親友がこの場所を使って修行して下さいと。今日本ではこの様な修行道場が無いのですよ。皆お金お金で動いて。

このチベット仏教典（北京師範大学の仏教図書にあり）をも私がこれをラサで手に入れたのですね。殆ど全てチベット語だから、殆ど漢字で書いているこの経典もまた滅多に手に入らないわけですよ。今からもう何十年前かな？結局ね、ここに書いてある時空の事、時間と空間、無限とか、時間帯の事がここに詳しく書かれています。

だからチベット仏教も上座仏教も大乘仏教もそれから小乗仏教も実は全然変わりないわけです。ただ皆さんがあーだ、こーだと言って「分かった」となるわけで？ どの宗派、何の経典をとか、これここに全部書いてあります。

ここから見ればさっき言ったお釈迦様が如何にして成道したかという事を、大燈明仏ディーパンカラブツダから受記を受けたその最も大切な所が、実無所得、無所得を獲得したという無所得この事が、阿耨多羅三藐三菩提に直結しているという、簡単に言えば。それをまた今度は忍野八海で詳しく説明していきますけれども、そういう事でどうでしょうか？良いですか？何か質問ありますか？



失ったとされた經典を手に、説明される水源禪師

質疑応答

無所得、ただ座って行けば実感として体感できる

【参加者】

先生、無所得という事に関してちょっと触りだけでも、昨日S君が質問をして、お金を持たないという事ではないと言われましたよね。何物にも捕らわれるなという事ですか？

【水源師】

それはね、ただ座っていけばそれが実態として体感、それでしか道が見えないでしょう。まあ一乗禅の会でそこに到達した方が出た。だから私も安心してこれから山に入れると。という事で皆さん手を合わせて登っていけば、同じような結果が出るから、まあ自主瞑想会とか、自主合宿会があればぜひ大阪の人は大阪ここら辺でも良いから参加されていけば必ずや、もう中には到達した人が出始めているから。私がいなくても皆さんと一緒に登れます。まあそういう事でどうでしょう？はい。

【司会者】

何か質問ありますか？

【水源師】

この本、「生死的幻覚」という究極のことを書かれているのだけれども、これはさっき言った私が説明したこの事。それをね、私がくどくど説明してももっと頭がこんがらがらるから、まずは座って下さいというわけです。

その後の話。だからチベット仏教であろうが、大乘仏教であろうが、南伝のパオセヤドーの書かれた **Knowing is seeing** という法髓観の教科も全て一体化しています。分けることが出来ないように。まあそういう事です。

【参加者全員で】

ありがとうございます。

【水源師】

よろしく願いいたします。

まあそういう事で法話はこれで良いですか？

【司会者】

はい。

何か質問ありますか？明日又反省会で皆お話して頂くのですけれども。山梨来られる方はお聞きできるけれども、先生ともあまりお会いできないので、二年間山に籠ってしまうので、この場で何でもお聞きしたい事がありましたらぜひ。

【水源師】

安心してやって下さい。

【参加者】

はい。

【水源師】

まあそこで英気を養ってもう一回。もう今まで待たなし、病気もする事ができない、倒れる事もできない。もうあっちこっち飛び回されるし。そういう事でちょっと二年の休暇いう事かな。良いですか？じゃ、何もなければ。

大麻について

【参加者】

すみません、良いですか？
最近医療大麻とか、マリファナってあると思うのですが、

【水源師】

マリファナ？

【参加者】

大麻。

【水源師】

ああ大麻。

【参加者】

医療大麻とか最近よくニュースでよく見るのですけれども、先生の法話を観た時にそういうのを吸うとお化けが凄く寄ってくるって見たのですが、やっぱり、医療とかそういうものでも大麻というのはあまり良くないものなのでしょうか？

【水源師】

そう思いますね。

【参加者】

そうですか、....。

【水源師】

一番良いのは、そういうものに頼らずに正法で瞑想すれば全て治るわけです。結局、今は薬ですぐ悟りたいと。薬一つ飲めば悟りに入るという風なまやかさに負けて、とんでもない所に行くわけです。

ただし、それはね、日本では巫女さんとか行の達した方がそういう大麻を使うのは、それはやっぱり行が達しているからそういう凄い体験が出来るけれども、そういう行もなしにやった場合には、非常に危険です。しない方がよろしいと思います。

それは日本では宮殿の司祭の方で、大麻でその日本の未来を観るとかそうい

う事で使われて。聖なるものであって遊びではないわけですね。

だから全ては、ゼロのポイントがあるツルみたいにね。それを下げた場合にはおかしくなるけれども、それを高くした場合には本当に癌を治すとかいろんな事があるけれども、本当にそうかどうかは、私は分からないし。それでアメリカ、カナダではもう税金のお金も入らないから、今度は大麻を売るのでって（笑）。大麻合法、でも私は興味ないし、吸わないし。煙草も吸わないし。まあそういう事ですね、良いですか？

【参加者】

はい、ありがとうございます。

AIはゼロから出来ない、人間はゼロから作るという凄い力を持っている

触らぬ神に祟りなしで、そういう安全な方向がよろしいのではないでしょうかね。

Kさんは、本当は普通の人はお医者に行って手術をすると思うのだけれども、しないで座禅で治してしまった。だから皆さんはその力があるのだけれども、勉強したくない、座禅したくない、薬一本で治してもらるのが早いと。

ところが逆にそれは大変な災いを及ぼしてあっち切るこっち切る、それで薬漬けになる。そりゃあ痛いですよ、物凄く痛いけれども、それを飛び越えた時に身体が自分で治してしまう。

私たちは弱いものだから、お医者さんに行けば何でもすぐに治してくれるという考えがあるからね。すぐそっちの方に飛びつくし、また朝から晩までお医者様、お医者様、病院、病院、何何薬と言ったら、皆もう「あ、行けばすぐに治るのだ」という風に錯覚して。

ところが、一旦切ってしまったら大変ですよ。身体は宇宙による周期的に出来ているから。人間の浅はかな考えでは到底治るわけない。ところが人間はまた不可思議な力を持って、そういう風な正法で修行をした場合には、本当に全ての病は治してしまうのです。命も伸ばしてしまうし、信じないからとか、あるものでもこれが無いと考えればなくなるわけ。

ところが実際にこうして治すものがあるわけです。という阿耨多羅三藐三菩提を受け取る力があるのだから、当然治せます。本当の意味で。ところがもう完全に頭が汚染されてしまって、頼るのが一番、神様に頼めばすぐに治ると、薬を貰えばすぐに治ると、勉強したくないけれどもチップを入れれば東京大学に入れると。

じゃあ何のために勉強するかと。AIが全部やってくれるから人間いらないと

なればどうします？ まあ、そっちの方にまっしぐらに走っているような気がしますけれども、今の状態では。さっき U さんが言われた私たちはゼロからやりましたと。AI はゼロから出来ないのです。

人間はゼロから作るという凄い力をもっているのに、それを無視して逆に作れない機械に頼ればどうなります？阿耨多羅三藐三菩提を受け取る力あるのですから皆さん。何があっても諦めずに。

想像を絶する仏法の凄さ

因果関係で突然死が訪れるかも分からないし、そういう関係がってもその因果まで変える力があるのです、実は。悟りの世界に入ってしまうと、因果が消えてしまう。

それでもこの世で犯した事の悪い事も結局受け取るしかないのです。だから達磨大師様の歯を折った方が九年間その洞窟の側で膝まずいて、出てきた時に「お前は何故ここにいるのか？」と「実は教えを受けたい」と、そうしたら「赤い花を咲かせてみなさい」と、そう言えば、ぱーんと小さい小刀で左手を切って差し上げたとそれでズーッと血を撒いた。慧可様がそれをやらなければどうせ法を彼は取れないわけです。

本人も分かって切ったわけで、というのは歯を折ったからというのは、ただの歯を折ったわけではないのです。悟りを開かれたアラハト様の歯を折ってしまったから。アラハト様の歯を折ったという事は、何百万人の人が死んでしまう大変な災いが中国に起こるから。それでもまだ済まない。

死ぬ時にはそのお寺の前で他の經典仏教の事をこれは間違っているという事で、お寺からももう凄い恨みを買って惨殺されたのです。ぱーんと切られて死にました。

ところが慧可様はアラハトになったから涅槃の世界に行ってしまう。じゃなければ大変な無量永劫の無限地獄に入っていくのだけれども。という風に達磨大師様は自分の教えを受けた慧可様を救ったわけで、慈悲そのものです。

という風にお釈迦様はまたアラハトになられたアングリマーラを救ったわけです。999人を殺してお母親様を殺そうとした時に御釈迦様が出てきて辞めさせて、その方もやっぱり死ぬ時には皆から石を投げられて殺されたのです。

ところが彼はその前に殺される前に阿羅漢になって沢山の命を救っているわけです。という話はあんまり伝わっていない。だから仏法の凄さというのは、想像を絶する。私が今説明したこういうお話でも想像を絶するでしょう？

なぜエクアドルに行ったかの話も想像を絶する話。エチオピアに行った内容を聞けばもっとびっくりしてしまう。アフガニスタンから最高のルビーを手

入れて。

このルビーはピジョンブラッド（鳩の血の色に近いと言われている）と言ってね、ミャンマーで採れる最高のルビーに近い物だから凄く高価な物なのだけれども。何故かそこに呼ばれて行って法を受け取って、私でも買える値段でここに収まっているわけです。ピジョンブラッドという名前も知らないでしょう？

ルビーには色んな代価があって、この色は最もミャンマーのピジョンブラッドに近い色なのです。だからどれくらいお金を出さなければいけないか分からない。今から二十数年前にね、赤いダイヤモンド、これくらい小さいやつが数億円で買うから。まあそういう事で摩訶不思議な世の中で絶対に手に入らない、様なものが、天界から用意してくれるわけです。

そういう風に、私の不可思議な世界の話がすれば想像を絶する人生なわけです。絶対にありえない。だから逆に馬鹿にされるくらいだから、話さないでいます。これで今日はおしまいにして。明日は帰る前に皆さんとお話して最後、お釈迦様の体験されたジャータカ物語の本当のお話ね。一番大切なところをひとつだけお話します。ま、そういう事で。じゃあ回向。



アフガニスタンで蓮の花よりお生まれに成られた、グルリンポチェ様

水源禪師法話集 105

(2019年4月20日 大阪合宿2日目)

2019年6月2日発行

編集兼発行 一乗禅の会